

ダイハツ純正

バックモニタークリーナー

取扱書

お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。
本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

ダイハツ工業株式会社

本書では、安全にお使いいただくために、守っていただきたいことを次のように表記します。

警告

記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。

注意

記載事項を守らないと、傷害につながるおそれがあること。

注意

記載事項を守らないと、車両や装備品の故障や破損につながるおそれがあること。

ワンポイント

より安全、快適にご使用していただくうえで知っておいていただきたいこと。

- 外観は、予告なく変更することがあります。
また、この取扱書の中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。外国ではご使用になれません。

■安全にお使いいただくために

⚠ 警告

- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- 本機の取り付け場所変更時は、安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 本機を車載用以外で使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。
- ノズルを下から覗かないでください。エアーが目には噴射されて怪我をする恐れがあります。噴射された場合は、すみやかに医師にご相談してください。

注意

- 洗車の際には、高圧洗浄機でノズルに過度な力を加えないようにしてください。強い水圧により衝撃が加わり、ノズルが破損する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となります。
- 雨天時には長時間バックドアを開けたままにしないでください。内部に水が入り、故障の原因となります。

注意

- ノズルに有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。機能が低下するおそれがあります。付着したときは、すぐに拭き取ってください。ノズルが詰まるなど故障の原因となります。
- ノズルが詰まったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- レンズが汚れている場合は、柔らかい布で拭き取ってください。強くこすると傷の原因や、機能低下の原因になります。
- ノズルを強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。破損するおそれがあります。
- エアーが噴射しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



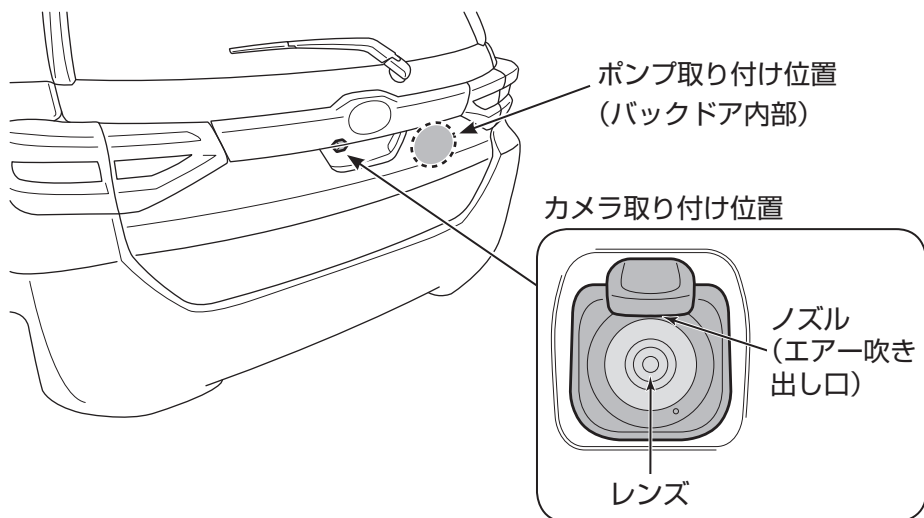
ワンポイント

- 雨滴をエアーで除去する装置のため、全ての付着物（雪や着氷、泥や汚れなど）を吹き飛ばすことはできません。また、作動後もレンズに雨滴が残る場合もあります。

■ バックモニタークリーナーについて

バックモニターのカメラに雨滴が付着して映像が見えにくいときに、エアー（空気圧）で雨滴を吹き飛ばすシステムです。

■ 本機の取り付け位置について

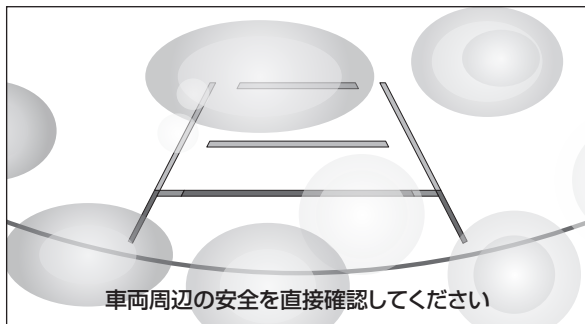


ワンポイント

- 取り付け位置については、車種によって異なります。
- エアーを噴射するたびに、ポンプユニットの作動する音がしますが異常ではありません。

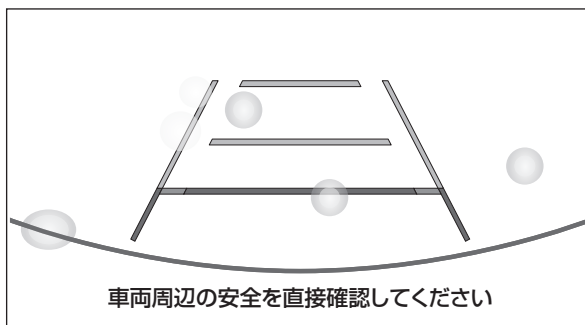
■ 画面の見え方

● 雨滴が付着した状態



画面はイメージです。

● 雨滴をエアで吹き飛ばした状態



画面はイメージです。





ワンポイント

- 映し出された映像の表示は装着しているカメラによって異なります。
- 雨滴が残っている場合は、リヤワイパーを一旦停止させてから、再度動かしてエアを噴射してください。(P.5 参照)

■ エアアの噴射について

本機は、リヤワイパーの動作に連動してエアアを噴射します。

状態	作動条件	噴射動作
	リヤワイパーを連続作動にしたとき	リヤワイパーの初回動作に連動してエアアを <u>2回噴射</u> します。 連続作動継続中はエアアを噴射しません。
	リヤワイパーを間欠作動にしたとき	リヤワイパーの間欠動作に連動してエアアを <u>数回噴射</u> します。 間欠作動継続中はエアアを噴射しません。
	リバース連動リヤワイパーが働いたとき (リバース連動リヤワイパー装着車のみ)	リヤワイパーの初回動作に連動してエアアを <u>2回噴射</u> します。

- リヤワイパーの間欠作動中、または連続作動中にエアアを噴射したい場合は、リヤワイパーを一旦停止させてから再度動かしてください。
- リバース連動リヤワイパーとは、フロントワイパーが作動中にシフトレバーをリバースへ切り替えるとリヤワイパーを作動させる機能です。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

ワンポイント

- 雨が降っていないときや雨滴が付着していないときでも、作動条件でエアアを噴射します。
- 各操作のタイミングにより、エアアを噴射しない場合があります。噴射したい場合は、リヤワイパーを一旦停止させてから作動条件にしたがって操作してください。

■ 故障とお考えになる前に

下表にしたがって処置をしても症状が改善されない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

症 状	原 因	処 置
リヤワイパーを動かしてもエアーを噴射しない。	エアー噴射の作動条件に合っていない。 (P.5 参照)	リヤワイパーを一旦停止させてから、再度動かしてください。
リバース連動リヤワイパーが働いたときにエアーを噴射しない。 (リバース連動リヤワイパー装着車のみ)	リヤワイパーのリバース連動機能が作動していない。	お買い上げの販売店へご相談ください。
	エアー噴射の作動条件に合っていない。 (P.5 参照)	リヤワイパー停止中、フロントワイパー作動中にシフトレバーをリバースへ切り替えてください。
シフトレバーをパーキングからドライブへ移動するときにエアーが噴射する。	エアー噴射の作動条件を満たしたため。 (リバース連動リヤワイパー装着車のみ)	—
エアー噴射後の雨滴が残っている。	レンズが汚れている。	柔らかい布で拭き取ってください。
	全ての雨滴を一度で吹き飛ばせない。	雨滴が残っている場合は、リヤワイパーを一旦停止させてから、再度動かしてエアーを噴射してください。(P.5 参照)
	ノズルが詰まっている。	お買い上げの販売店へご相談ください。
雪や氷、泥などの汚れが除去できない。	付着汚れ、氷結した水や雪までは除去できません。	柔らかい布で拭き取ってください。
ポンッポンッと音がする。	ポンプユニットが作動している音。	故障ではありません。そのままご使用ください。

■ アフターサービスについて

■ ダイハツ純正 バックモニタークリーナー

●この商品には保証書を添付しております。

保証書は販売店でお受け取りの際、必ず、「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に取扱書を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪い場合、次により修理をお申しつけください。

- ・保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
- ・保証期間が過ぎているときは、お求めの販売店にまず相談をしてください。お客様のご希望により、有料で修理をお引き受けいたします。
- ・事故や人災などによる破損やジュース類の混入による故障は修理対応できないことがあります。

●この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

●アフターサービスなどについておわかりにならないときは、お求めの販売店にご相談ください。

■仕 様

<ポンプ>

電源電圧	9.0 V ~ 16.0 V
消費電流 (最大)	1.5 A
使用温度範囲	- 30°C ~ + 70°C
外形寸法 (W × H × D)	約 108.5 mm × 70.5 mm × 43.8 mm
質量 (重量)	約 126 g

ダイハツ工業株式会社
株式会社 デンソーテン



0 9 0 0 0 2 - 4 0 7 1 0 7 0 0

090002-40710700

2003** (K)